

2022年度（2022年1月1日～2022年12月31日） 事業報告書

特定非営利活動法人 アジア教育友好協会

1. 事業の概況および成果

<建設事業(海外事業)>

今年度も、それぞれの地域の少数民族の教育の現状と課題を踏まえ「学校等建設」及び「教育支援プロジェクト」に継続的に取り組みました。こうした取り組みの推進のため、各国パートナーおよびNGOとは、現地訪問の機会はようやく再開したもののまだまだ本格的な往来は限られることから、オンライン会議やメール等、緊密な連携を深めながら、事業を進め、支援者の皆さまには、直接のコミュニケーションに加えて、写真・動画等による進捗状況や報告を重ねました。

コロナ禍によって中断していたアジア教育協会（以下、AEFA）による現場訪問および日本の支援者が直接参加しての開校・開所式は、2022年9月よりベトナムにおいて再開することができました。

学校建設（建設中を含む、現地への送金ベース）の実績は、ラオス（1校）・ベトナム（3校）・スリランカ（2校） 合計6校（表1参照／完成済は2校。4校は建設中）となりました。

（表1）2022年度建設校一覧

	国名	地域	学校名	支援者(敬称略)
1	ベトナム	トゥエンクアン省	ビンフー小 (Binh Phu)	アジアの子供たちに学校をつくる議員の会
2		タインホア省	ルオンチュン小学校 モットドイ分校 (Mot Doi)	横浜幸銀信用組合 (旧チョイモット分校)
3			イエンタン小学校 クーヴァン分校 (Khu Van)	エルセラーン1%クラブ
4	ラオス	チャンパサック県	ナンサイター小学校 (Namsaytha)	国際協力NGO 風の会
5	スリランカ	南部州	カワンティサプラ・マハー小中学校 (Kavanthissapura Maha)	一般寄附

6		西部州	イルコーウィタ小中学校 小校舎 (Illukovita)	(株)やすらぎの部屋 シルバーアーチ基金
---	--	-----	------------------------------------	-------------------------

昨年度の事業によって建設中であった4校も完成し、AEFAの事業開始以来18年間の学校建設の累計は333校(ベトナム183校、ラオス119校、タイ15校 スリランカ12校、中国2校、ネパール2校)となりました。

各国の取組みについては以下のとおりです。

ベトナム

学校建設については、東北部トゥエンクアン省およびタインホア省において3校の小学校建設(改築を含む)を進めました。レインボーライブラリープロジェクトによって、図書館建設と読書啓もう活動を4館で新規に着手しました(累計23館)。すでに建設を終えた学校における読書啓もう活動も17館において並行してプロジェクトが進められました。読書啓もう活動の締めくくりとして、ティエンボ校等の9校でクロージングセレモニーを開催しました。クロージングセレモニーには、支援者もオンラインで参加し、児童との交流を行い、プロジェクトへの理解を深める場面もありました。

2021年から継続実施してきたコロナ禍が児童のメンタルヘルスにおよぼす影響を調査・分析し、具体的な対応活動を進めるためのStar Fishプロジェクトは、フェーズ2に移行し、保護者がこれらの問題に関する理解を深めるため、専門家による講習に取り組むといった具体的な対応段階に入りました。同じく継続的に取り組んできたFaster Plusプロジェクト(バレーボール)では、筋力や持久力をつけ運動不足を解消するとともに、児童がチームワークで協力する力を養いました。学力だけでなく、児童の心身の成長と健康に関わる教育支援プロジェクトは、子どもたちにとっての効果も観察され、現地におけるニーズもますます拡大してきています。

学校集中化といったベトナム政府の教育政策の転換や経済成長の影響による格差拡大によって、学校建設や教育プログラム提供のニーズが変化する中、引き続き、現地と緊密な連携を取りながら、それぞれの地域や学校に応じたプロジェクトの提案やマッチングを継続していきたいと考えています。

ラオス

学校建設については、南部チャンパサック県の小学校の改築に取り組んでいます。本事業は国際協力NGO風の会との連携で実施したものです。AEFAとしてラオス初の図書館建設と読書啓もう活動(キャンドルライツライブラリー)は、南部サラワン県のクアセット小中校にお

いて建設し、12月に開館、活動を開始しました。同月22日、小中合同で読書イベントを実施し、自分の好きな本の紹介や音読を行いました。読書に親しみ、読書の習慣を定着させ、ひいては、子どもたちの能力を引き出すプロジェクトであり、また、現地のNGOにとっても初めてのプロジェクトであることから、丁寧にフォローしつつ、今後の拡大の可能性も模索していきたいと考えています。

児童の栄養状態の改善を目指すリトルシェフプロジェクトでは、少数民族が多く居住する、特に困窮度の高い地域におけるAEFAプロジェクト校を対象に実施しています。少数民族の子どもたちは、タンパク質などバランスのとれた食事をとることができない、また保護者の知識不足により十分な栄養を摂取できず、ラオス全体と比較しても、心身の成長が遅れてしまいがちです。また、このプロジェクトは、ポスト・コロナとウクライナにおける戦争の影響もあります。他のプログラムと同様、高学年の子どもたちをリーダーにして、低学年の子どもたちを含めて、学校全体で自ら学びを深める教育プログラムを丁寧に進めることを通じて、少数民族特有の課題であるリーダーシップの育成、学校教育の充実、ひいては、地域全体の教育に対する肯定感と参加協力の醸成にも寄与するプログラムとなっています。

教育を担う先生へのサポート、また、将来地域を担う卒業生を支える先生基金・奨学金も継続しました。本年では5名が職業訓練校やカレッジを卒業、山岳部サラワン県タオイ郡出身の5名が新たに奨学生となり、10名の学び(サラワン県教員養成短大・ベトナム クアンチ省医療大学・職業訓練校・カレッジ)を支援しています。

経済力の弱いラオスでは、ポスト・コロナやウクライナにおける戦争の影響もあって、インフレが深刻となっており、大規模な建設事業の見込みはなかなか立ちません。今後も現地の状況、ニーズをよく踏まえながら、活動を続けていきたいと考えています。

スリランカ

ラオスと同様、経済力の弱いスリランカでは、ポスト・コロナやウクライナにおける戦争の影響もあって、インフレがきわめて深刻で、支援者の寄附によって学校建設を内定したものの、工事着工に向けた環境が整わず、本年度内における着工は見送りました。工事環境の改善は日々進んでいるとの現地からの連絡もあり、次年度早々にも着工できる見込みです。

引き続き、現地と緊密な連携を進めながら、建設の進捗を確認していきたいと考えています。

その他

マレーシアでは、引き続き、セランゴール州にあるミャンマー出身チン族難民の学校であるCSOプチョン校(Chin Student Organization Puchong)の運営を支援しています。

タイでは、コロナ感染拡大によって、推進してきた農業プロジェクトが延長していましたが、

事務所兼作業所が完成し、拠点を活かした活動が進められています。

各地域における教育支援プロジェクトの概要は表2のとおりです。

(表2)2022年度教育支援プロジェクト一覧

	支援プロジェクト	支援者(敬称略)
ベトナム		
1	レインボーライブラリー 3校 (ニンライ小・バンコン小・ルンカオ小)	エルセラーン1%クラブ
	レインボーライブラリー 1校 (クアントウルン小)	医療法人社団 ALBA
2	No8 La Van Cau 小寄宿舎(一部支援)	一般寄附
3	Star Fish フェーズII(メンタルヘルス) (キムソンカシトン小)	一般寄附
4	FASTER PLUS(バレーボール&スポーツコート) (キエンティエット小)	特定非営利活動法人 Shared Smile Japan
ラオス		
5	奨学金・先生基金	一般寄附
6	リトルシェフ(栄養状態改善) (パヌアン小、ファイラ小、ハーコーナム小中、ピエンカム小中、カトゥア小、ガザ小)	一般寄附
7	ルアンナムター県ノンカム中高校水道	Syncableによる一般寄附、 バクチーアジア支援の会、跡見学園中高校、リアンコーポレーション社
8	図書館 2校 (ナボーン中高校、ピエンカム小中校)	エルセラーン1%クラブ
9	図書館 1校 (マイバンマセル中高校)	荒川商業高等学校 PTA、桐門会、
10	チャンヌア小スポーツコート及び浄水器	東京都武蔵村山市立第八小学校
その他、日本の学校の子供たちの活動から、ラオスの小学校に教材やスポーツ用品を支援した。		
スリランカ		
11	ウィーラヘラ小中学校修復	熱中小学校江丹別分校 小学校を作ろうボランティア部
マレーシア		
12	CSO プチョン校維持運営支援	自由学園初等部、津市立村主 小学校他一般寄附

<交流事業>

コロナの影響もあって、学校向けの出前授業の要請は限られ、オンラインによって5校（港区赤羽小・自由学園初等部・さいたま市植水小・長野市大岡小・津市村主小）において実施しました。日本の学校で実施してきた「出前授業」は累計759回となりました。

また、学校以外において、コロナ禍の現地の状況等に関する勉強会を、支援者や会員等を対象に開催しました（3回）。

<広報活動>

ホームページの更新・ソーシャルメディア（FacebookおよびInstagram）による発信に取り組み、会報33号と34号を発行しました。また、毎月オンライン交流会（読書会、SutekiVietnam（ベトナムの方との交流会）、理事長と語ろう会、絵本を読む会、出張報告会）を開催しました。

2. 収支および資産、会員の概況

<収支および資産の概況（単位：千円）千円未満切捨>

当期収入額	69,245	=	一般寄附 67,780	+ 会員会費 1,465	
当期支出額	80,910	=	建設事業費 68,371	+ 交流事業費 5,722	+ 管理費 6,816
当期事業収支	▲11,664				
経常外収入	9,620				
期末正味資産	40,616				

<会員の概況>

会員数：個人会員 160名（うち正会員53名）、法人会員 11社（うち正会員 2社）

会費収入は昨年比325千円減の1,465千円。正会員数は、年々増加（本年2割増）

3. 事業支出内訳

事業支出の内訳は以下のとおりです。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (単位:千円)
建設事業	① <学校建設> ベトナム・ラオス・スリランカの山岳地域の学校および図書館建設(読書啓蒙活動を含む)		① 3カ国 6校		①地域の住民及び児童生徒: 1校平均150名程度 合計約950名	68,372
	② <教育支援プロジェクト> ベトナム StarFish フェーズII ラオス リトルシェフプロジェクト	2022.1.1 ~ 12.31	② 2カ国 ベトナム ラオス	4名	② ベトナム 児童計67名 及び地域住民 ラオス 小・中学校8校 児童生徒計800 名および地域住民	
交流事業	① 日本国内出前授業: 計5回(累計759回) ② 児童生徒奨学金及び 教師育成事業 ③ マレーシア難民学校支援	2022.1.1 ~ 12.31	① 日本 5校 ② ラオス ③ マレーシア	2名	①各回: 約35名 ~100名 合計: 約200名 ② ラオス教員養成短大生、職業訓練校他10名 ③ 約100名	5,722

2022年度特定非営利活動に係る事業会計 活動計算書

2022年1月1日から2022年12月31日まで

特定非営利活動法人 アジア教育友好協会

(単位:円)

科 目		金 額	
I 経常収益			
1	会費・入会金収入		1,465,000
2	寄附金収入		67,780,404
3	その他収入		559
	利息収入	559	
	経常収益計		69,245,963
II 経常費用			
1 事業費			
(1)	学校建設事業費	62,039,653	
(2)	交流事業費	2,137,130	
(3)	人件費		
	役員報酬	1,125,000	
	給料手当	2,700,000	
	雑給	0	
	法定福利費	559,527	
	退職給付費用	450,000	
	人件費計	4,834,527	
(4)	その他経費		
	旅費交通費	896,021	
	業務委託費	2,520,000	
	地代家賃	1,666,896	
	その他経費計	5,082,917	
	事業費計		74,094,227
2 管理費			
(1)	人件費		
	役員報酬	375,000	
	給料手当	900,000	
	法定福利費	186,509	
	退職給付費用	150,000	
	人件費計	1,611,509	
(2)	その他経費		
	業務委託費	840,000	
	旅費交通費	551,778	
	荷造運賃発送費	144,551	
	通信費	319,485	
	広告宣伝費	66,449	

交際費	17,140		
会議費	53,830		
消耗品費	34,650		
水道光熱費	168,874		
地代家賃	1,666,896		
事務用品費	229,288		
諸会費	61,300		
新聞図書費	1,187		
支払手数料	184,149		
減価償却費	206,367		
為替差損	658,562		
その他経費計	5,204,506		
		6,816,015	
管理費計			80,910,242
経常費用計			△ 11,664,279
当期経常増減額			
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計		9,620,002	
過年度損益修正益	9,620,002		
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計		0	
税引前当期正味財産増減額			△ 2,044,277
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			△ 2,044,277
前期繰越正味財産額			42,661,276
次期繰越正味財産額			40,616,999

2022年度 特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

2022年12月31日現在

特定非営利活動法人 アジア教育友好協会
(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	1,495,124	
預 金	47,781,187	
前払費用	277,816	
仮払金	102,847	
流 動 資 産 合 計		49,656,974
2 固定資産		
備 品	76,271	
リース資産	25,920	
敷 金	1,190,640	
固 定 資 産 合 計		1,292,831
資 産 合 計		50,949,805
II 負債の部		
1 流動負債		
預り金	106,886	
流 動 負 債 合 計		106,886
2 固定負債		
リース債務	25,920	
退職給付引当金	10,200,000	
固 定 負 債 合 計		10,225,920
負 債 合 計		10,332,806
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産額		42,661,276
当期正味財産増加額		△ 2,044,277
正味財産合計		40,616,999
負債及び正味財産合計		50,949,805

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は最終仕入原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金：役職員の退職に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上しています。

(4) 過年度損益修正益

過年度における計上漏れが判明した利息収入2円及び寄附金収入9,620,000円を、当期経常外収益に「過年度損益修正益」として計上しました。

(本件処理については、2022年11月5日開催の臨時社員総会にて承認決議を得ています。)

2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科目	学校建設 事業費	交流事業費	事業費計
(1) 学校建設事業費	62,039,653		62,039,653
(2) 交流事業費		2,137,130	2,137,130
(3) 人件費			
役員報酬	600,000	525,000	1,125,000
給料手当	1,440,000	1,260,000	2,700,000
法定福利費	298,414	261,113	559,527
退職給付費用	240,000	210,000	450,000
人件費計	2,578,414	2,256,113	4,834,527
(4) その他経費			
旅費交通費	743,001	153,020	896,021
業務委託費	1,344,000	1,176,000	2,520,000
地代家賃	1,666,896		1,666,896
その他経費計	3,753,897	1,329,020	5,082,917
合計	68,371,964	5,722,263	74,094,227

3. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
備品	953,160		0	953,160	△ 876,889	76,271
リース資産	777,600	0	0	777,600	△ 751,680	25,920
合計	1,730,760	0	0	1,730,760	△ 1,628,569	102,191

4. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	財務諸表に計 上された金額	内、役員との 取引	内、近親者及び 支配法人等との取引
会費・入会金収入	1,465,000	60,000	25,000
寄付金収入	67,780,404	520,000	0
小計	69,245,404	580,000	25,000
給料手当(事業費)	2,700,000	2,700,000	0
給料手当(管理費)	900,000	900,000	0
小計	3,600,000	3,600,000	0
合計	72,845,404	4,180,000	25,000

財務諸表の注記の参考資料

4. 役員及びその近親者との取引の内容

(1) 会費・入会金収入 (単位:円)

日付	氏名	金額
1月14日		10,000
2月7日		10,000
2月7日		10,000
2月9日		10,000
7月14日		10,000
12月16日		10,000
役員計		60,000
1月14日		10,000
3月2日		5,000
8月2日		5,000
5月11日		5,000
近親者計		25,000
合計		85,000

(2) 寄付金収入 (単位:円)

日付	氏名	金額
2月7日		20,000
3月30日		300,000
12月15日		200,000
役員計		520,000
近親者計		0
合計		520,000

2022年度 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

2022年12月31日現在

特定非営利活動法人 アジア教育友好協会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金		
手元現金	1,495,124	
預金		
当座預金 ゆうちょ銀行振替口座	1,408,943	
普通預金 みずほ銀行 芝支店	27,810,627	
普通預金 三菱UFJ銀行 田町支店	11,925,716	
外貨預金 みずほ銀行 芝支店	6,635,901	
前払い費用		
事務所家賃 2022年1月分	277,816	
仮払金		
海外出張費用	102,847	
流動資産合計		49,656,974
2 固定資産		
備品		
パソコン (5台)	76,271	
リース資産		
コピー機 (1台)	25,920	
敷金		
事務所敷金	1,190,640	
固定資産合計		1,292,831
資産合計		50,949,805
II 負債の部		
1 流動負債		
預り金		
社会保険料・預り源泉所得税他	106,886	
流動負債合計		106,886
2 固定負債		
リース債務		
コピー機 (1台)	25,920	
退職給付引当金	10,200,000	
固定負債合計		10,225,920
負債合計		10,332,806
正味財産		40,616,999

2022年度 年間役員名簿

2022年 1月 1日 から 2022年 12月 31日まで

特定非営利活動法人 アジア教育友好協会

役名	氏名		就任期間	報酬を受けた期間
理事長	谷川 洋		2022年1月1日 ～2022年12月31日	2022年1月1日 ～2022年12月31日
専務理事	佐川 旭		2022年1月1日 ～2022年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	亀井善太郎		2022年1月1日 ～2022年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	金子恵美		2022年1月1日 ～2022年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	坪井未来子		2022年1月1日 ～2022年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	横江友則		2022年1月1日 ～2022年6月22日	年 月 日 ～ 年 月 日
監事	井田明夫		2022年1月1日 ～2022年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		以下余白		

社員のうち10人以上の者の名簿

2022年 12月 31日現在

特定非営利活動法人アジア教育友好協会

	氏 名
1	谷川 洋
2	佐川 旭
3	亀井善太郎
4	横江 友則
5	金子 恵美
6	坪井未来子
7	井田 明夫
8	安澤富士子
9	石塚 勝巳
10	大関 恵美
11	太田 謙輔
12	菊岡 信義
13	木村 達也
14	楠山 紀子
15	工藤 卓二
16	久保 義昭
17	小林 弘英
18	榑 尚信
19	菅沼 利之
20	鈴木 博康
21	田中 章雅
22	田中 富美子
23	田宮 雅子
24	辻 昌宏
25	服部 駒子
26	廣部 武
27	星田 啓子
28	森田 聖一